2027 年度

酪農学園大学海外招聘研究者募集要項

Application Guidelines for 2027
Rakuno Gakuen University International Guest Researcher Program

知に足つけて、どこまでも。
酪農学園大学
RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY

2027 年度
酪農学園大学海外招聘研究者募集要項

１．目　的

酪農学園大学（以下「本学」という。）における国際学術研究交流を推進し、研究・教育の充実発展を図るため、学術交流協定を締結している大学・研究機関から研究者（以下「招聘研究者」という。）を招聘する。

２．対象分野

本学が受入可能な分野

３．対象大学、研究機関

本学と学術交流協定を締結している機関

４．資　格

① ３．に示す学術交流協定を締結している大学、研究機関等に所属する専任の研究者で、教授、准教授、講師級の職にある人物、および学識経験豊かな人物で、事前に共同研究に関して本学の受入教員の承諾を得ている者。

② 日本において、日常生活に支障をきたさない程度の日本語または英語能力のある者が望ましい。

③ 滞在中の成果を、終了後１年以内に学会発表や論文発表する者。

④ 同一年度内の重複採用は不可。

⑤ 来日後の研究活動に必要な費用を、本人または受入研究室が確保できること。

５．招聘人数

若干名　〔当該年度の予算範囲内において長期希望者（6 ヶ月以上）を優先的に招聘する。〕

６．招聘期間

2027 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日の間に来日・帰国し、2 週間以上の滞在とする。

※ 来日後の研究期間の変更および帰国は原則として認めない。

７．支給経費　※2027 年度予算決定額により変更の場合あり。

① 滞　在　費：　月額 100,000 円
　　※滞在日数が１ヵ月に満たない端数は日割りで支給

② 住　　居：　招聘期間の住居は本学が用意する。光熱水費、寝具代等の実費は本人負担とし、宿舎管理者からの請求に基づき支払う。

③ 交　通　費：　往復の交通費は本人が負担する。

８．申請方法

① 応募締め切り：2026 年 11 月 30 日（月）（必着）

※　当該年度の予算の範囲内において追加募集を行う場合がある。

② 申請書類（英文・和文以外は和訳を添付すること。）

1) 招聘研究者申請書（所定用紙）　写真はデータ貼り付け可

2) 写真（4 ㎝×3 ㎝）データ　※在留資格認定証明書申請用

3) 履歴書（様式自由）　学歴、職歴、研究業績等

4) 所属機関の長の推薦書（様式自由）

5) 健康診断証明書（所定用紙）※3 か月以上の応募者のみ

6) 受入教員の承諾書（所定様式）※事前に取り付けること

7) 受入教員等からの理由書（様式自由）※共同研究の実績（学術論文、研究実績等）を記載

③ 申請書提出先

1)～5)に必要事項を記入の上、酪農学園大学社会連携課に提出する。（メール添付可）

6)、7）は受入教員が作成の上、酪農学園大学社会連携課に提出する。

９．選考方法

社会連携委員会において研究内容・研究実績、教員から提出された理由書等により選考した者を大学学長に推薦し、大学学長が決定する。

１０．選考結果の通知

応募締切後一カ月以内を目途に結果を通知する。

１１．研究成果報告書

① 招聘研究者は、帰国前に本学内で当該テーマに関する研究発表が義務づけられる。

② 招聘研究者は、帰国前に共創コミュニケーションセンター副センター長を経て、学長に対して研究成果報告書を提出しなければならない。

１２．その他

① 招聘研究者は、ゲスト講師として特別授業やセミナー等の講演または学生の論文指導を行うことができる。それに対しては謝金を支払う。

② 家族同伴で来日する場合、家族分の滞在費等の経費については自己負担とする。また、その場合の宿舎については提供できない場合がある。

③ 不測の事態が発生したときは、招聘時期等を変更する場合がある。

④ 同一大学・機関から、連続した年度で受け入れることはできない。

⑤ 受入教員は、外部資金申請を実施していることなどを優先する。

問い合わせ・申請書提出先
酪農学園大学社会連携課（花田）
〒069-8501　北海道江別市文京台緑町５８２番地
電話 011-388-4132、 Fax 011-387-2805
Email; rg-iad@rakuno.ac.jp